

ぼうはん栃木

発行

(公社)栃木県防犯協会
栃木県風俗環境浄化協会
宇都宮市昭和3-2-8
電話 028(666)7700
FAX 028(666)7738



撮影場所:日光市

青少年の非行・被害防止全国強調月間
7月1日(日)~7月31日(火)まで



「防犯マスコット」
©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE



風俗環境浄化協会
シンボルマーク

No.177号

みんなで つくろう 安心の街

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

七月一日(日)～七月三十一日(火)

毎年七月は、「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です。

平成二九年中の県内における非行少年の検挙・補導人員は四七四人と統計史上最少を更新し、少年非行が多かった昭和六〇年の約一〇分の一となっております。

しかしながら、少年非行の九割を占める刑法犯少年の再犯者率は、二六・二％と過去一〇年間で最高値を記録しており、少年を取り巻く非行情勢は依然として厳しい状況にあります。

また、被害の状況についても、SNS等を通じて被害に遭った少年が全国で過去最多を記録する等、少年が被害となる性犯罪事件が後をたちません。加えて繁華街を有する大都会では、女子高中生等によるマッサージュ、会話やゲームを楽しむなどの接客サービスを売り物とする、いわゆる「JKビジネス」が登場し、アルバイト感覚の安易な気持ちから性被害に遭うケースが増加しています。

このため、夏休みを迎え、解放感から少年たちの気が緩みがちになるこの時期に、家庭、学校、地域及

び警察が一丸となり、青少年の非行・被害防止に取り組む必要があります。警察では、「非行少年を生まない社会づくり」を目指し、県民の皆様方と連携して、次の取り組みを推進して参りますので、ご協力をお願いいたします。



① 広報啓発活動の推進

県民の皆様方が、青少年の非行・被害防止、健全育成及び有害環境の浄化等に取り組んでいけるよう広報啓発を推進します。

② 有害環境浄化活動の推進

事業者等に対して、未成年者への酒類、たばこ販売等の防止、青少年の深夜立入制限の要請等、青少年を取り巻く有害環境浄化活動を推進します。

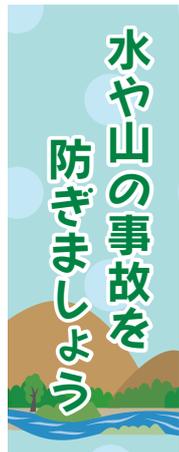
また、青少年を有害情報から守るため、児童が使用する携帯電話・スマートフォン等のフィルタリング導入や家庭でのインターネット利用のマナー向上を目指します。

③ 地域ぐるみの補導活動

少年サポートセンターや少年指導委員、学校等関係機関、地域住民と連携し、未成年者の飲酒や喫煙、深夜はいかないなどの不良行為の早期発見、補導活動に努めます。

④ 各種相談の充実強化

少年や保護者からの相談に対応し、適切な対策が講じられるよう学校への出張相談室「あしたルーム」の開設や電話相談コーナー「ヤングテレホン」により、少年や保護者が相談しやすい環境づくりを進めます。



○ 水難事故の防止

県内では、平成二九年中に六件六名の水難事故が発生し、四名が亡くなり一名が行方不明、一名が無事救出されました。特に、六月から九月までの間には、四件四名の水難事故が発生し、その内三名が亡くなっています。

平成二九年の発生を見ると六件中四件が川(一件はプール、一件は湖)で発生し、魚釣り中や水遊び中などの事故です。

魚釣りが解禁になったり暑い夏の時期になると水に親しむ機会が増えますが、川遊びをする際には、特に注意が必要です。

水難事故を防ぐため、次のことを守りましょう。

- ・事前に、現場の天候や水量などを確認し、その場に適した服装を揃え、心と体の準備をしましょう。
- ・魚釣りや水遊びをする際は、必ずライフジャケットを着用しましょう。

- ・子ども水の事故を防ぐため、必ずライフジャケットを着用させ、保護者が同伴し、絶対に目を離さないようにしましょう。

- ・「遊泳禁止」の立て看板が設置された場所では、絶対に水遊びや水泳をしない、させないようにしましょう。

- ・危険な場所で水遊びなどをしていてる人を見かけたら、声をかけてやめさせましょう。



- ・川の上流でゲリラ豪雨等の大雨が降ると、雨の降っていない下流でも急に増水することがあるので、こまめに気象情報を確認して変化に注意しましょう。

○山岳事故の防止

県内では、平成二九年中に二〇件七七名の山岳事故が発生し、一人が亡くなり、五六名が負傷、五人が行方不明、四名が無事救出されました。

- ・七月から八月の夏山シーズンでは、七件の山岳事故が発生しており、いずれもが登山中の事故で、主な原因は、滑落、転倒、道迷いによるものです。

- ・山の事故を防ぐため、次のことを守りましょう。

- ・登山する山の実態や登山ルート等を事前によく調べ、各自の経験、技術、体力を過信せず、自らに適した山を選び、余裕を持ったスケジュールを組みましょう。

- ・オンライン登山者情報システム「コンパス」等による登山計画書を提出し、家族等にも登山の予定日時やコースを知らせておきましょう。

- ・単独登山は、ケガをした時に救助を求めることができない場合もあるので、できるだけ複数で登り、「ヒトッコ」など山岳遭難時のサポートサービスなども活用しましょう。

- ・携帯電話や無線機等の通信手段をはじめ、食料、防寒具、予備バッテリー等充分な装備を携行して日暮れ前には下山しましょう。

- ・悪天候時等には、無理をせず登山を中止し下山する勇氣を持ちましょう。



栃木県防犯協会女性部 痴漢撲滅キャンペーンで 広報活動



栃木県防犯協会女性部は、去る六月四日(月)朝に、JR宇都宮駅で実施された「痴漢犯罪撲滅キャンペーン」に参加しました。

これは、電車内における痴漢犯罪の被害防止のため警察、防犯協会及び鉄道事業者等が協力し、痴漢犯罪防止の広報活動を実施することにより痴漢犯罪撲滅の社会気運の醸成を図ったものです。

当協会の女性部は、警察本部生活安全企画課員、JR宇都宮駅員等とともに同駅構内において鉄道利用者等に対し、啓発用ポケットティッシュ等を配布しながら広報活動を行いました。

「花の日」 幼稚園児からプレゼント

六月五日(火)、宇都宮市の「さくらんぼ幼稚園」の園児と先生三名が栃木県防犯協会を訪れ、職員に対し花束のプレゼントがありました。

同園では、毎年「花の日」に日ごろお世話になっている人たちに花を贈り、感謝の気持ちを表すことにしており、この日の訪問となりました。当協会では、幼児誘拐防止係の樋口指導員が、心をこめて作った「ディズニーマーの色紙」と「紙風船と巻き取り」セットをお礼としてプレゼントしました。



平成30年度
栃木県防犯連絡協議会
連合会定例理事会の開催



栃木県防犯連絡協議会連合会は、去る六月八日(金)しもつけ会館において、平成30年度定例理事会を開催しました。

部長のあいさつの後、役員改選がありました。今回は、五十嵐会長の辞任の意向を受けて改選となり、会長には、永島副会長が就任するなど次の新布陣となりました。

- 会 長 さくら地区 永島 信男(新任)
- 副会長 宇都宮中央地区 峰岸 和正(再任)
- 真岡地区 鈴木 義恵(再任)
- 足利地区 白石 敏昭(新任)

続いて生活安全企画課の檜山課長補佐から「県内の治安情勢と地域安全活動の推進状況」について説明がありました。

また、討議・意見交換では、防犯連絡所の運営方策等について、活発な意見交換が行われました。

寄付金付自動販売機設置のお願い

1 趣旨

「犯罪のない明るい街づくり」を推進することを目的に、自販機会社、設置事業所、防犯協会が協定を結び、売り上げの一部を犯罪抑止、環境浄化活動、青少年の健全育成等の地域防犯活動を支援する費用とするものです。

2 特徴

当協会が設置する自販機は、上部に設置したメッセージボードに犯罪情報や災害情報等を発信することにより

- 地域の犯罪抑止力や環境浄化の向上
- 地域の人々の防犯意識の向上
- 高齢者の保護啓蒙、青少年の健全育成などの面で、その効果が期待できます。

また、災害が発生した場合は、遠隔操作で解錠を行い、飲料水を無償で提供します。



寄付金付自動販売機の設置例

連載マンガ「カメ子ちゃん」

もともと壊れていたよ
木村 晃代作



地区防だより

防犯意識の啓発活動



宇都宮防犯協会宇都宮中央支部では、5月20日(日)宇都宮市城址公園などにおいて開催されたフェスタmy宇都宮2018のイベントに参加し、警察署と共にブースを設け、警察車両などを展示し、来訪者に防犯広報用チラシやティッシュペーパー、自転車盗難防止用の鍵などを配布し、防犯意識の啓発を図りました。

宇都宮防犯協会

「役員総会」を開催

小山地区防犯協会では、5月25日(金)に平成30年度の役員総会を開催しました。

総会では、平成29年度の事業報告、決算報告及び平成30年度の事業計画、予算が承認されました。事件事故のない安全で住みよい街を目指し、地域、警察、行政が一体となり防犯意識の高揚と青少年の健全育成を図り、各事業に取り組んでいくことを確認した。



小山地区防犯協会